



くまさんだより 第5号

新座駅前耳鼻咽喉科

目次

おもて

- ①めまいについて
- ②正しい綿棒の使い方

うら

- ①外耳炎について
- ②院長退任祝い・新スタッフ歓迎会

【めまいについて】

- (種類) ① 回転性めまい……ぐるぐる目が回る
自分自身がぐるぐる回っている感じ、周囲がぐるぐる回っているように見える。
- ② 浮動性めまい……ふわふわふらつく
体がふわふわした感じでふらつく、まっすぐ歩けない、姿勢を保つのが難しい。
- ③ 立ちくらみのようなめまい……くらっとする
立ち上がるとくらっとする、時に目の前が暗くなったり、失神を伴う。
- ④ その他のめまい……自律神経症状を引き起こし、気分不快、頭痛、時に吐き気を催す事がある。

- (検査) 問診:めまいが①起こった日時や起こる状況
②主な症状
③持続時間
④他にどの様な症状が現れたか？

眼振検査:めまいの程度を調べる検査です。
めまい発作時に眼球が激しく揺れ動く眼振を調べます。



(頭位変換眼振検査)
急激に頭を前後左右に動かした時の目の揺れを観察します。
良性発作性頭位めまい症では、ある特定の方向に頭を動かすと、一時的にくるくる回る眼振が出現します。

体平衡検査:身体のパランスがきちんと取れているか?を調べるための検査です。



両足で立って、目を開いた時と閉じた時とで、体のふらつき具合がどの程度違うかを観察します。

聴力検査:原因が耳の異常かどうかを調べます。
防音装置のある聴力検査室で行います。

- ① 鼓膜や耳小骨を介して内耳に音が伝わる機能を調べる検査
- ② 直接内耳に音を伝え、伝音障害、感音障害の鑑別診断をする検査

- (治療) ① 中枢性めまい→脳から来るめまい……
脳梗塞など原因となった疾患への治療が先行します。
- ② 末梢性めまい→耳から来るめまい……
最も頻度の高い「良性発作性頭位性めまい症」や、有名な「メニエール病」が挙げられます。

＜服用による治療＞

- ① 抗めまい薬・循環改善薬
主に脳や内耳の血流を増やすことによって、めまいを改善します。脳や内耳に十分な血流が行き届かないと、体のバランスを保つ働きに支障をきたします。またリンパの循環も悪くなるため、内耳がむくみ、めまいが起こります。
- ② 吐き気止め
めまいに伴う吐き気や嘔吐を抑えます。吐き気がひどくて内服が難しい場合には注射や点滴をします。
- ③ 浸透圧利尿薬(イソソルビド)
内耳を満たす液体(内リンパ)の過剰による内耳のむくみを解消します。通常のリンパ量は一定に保たれていますが、増えすぎると内耳が正常に働かず、めまいや耳鳴り、難聴などの症状が現れます。
- ④ ステロイド薬
神経の炎症やめまいに伴う難聴を改善します。ステロイド薬には、炎症を鎮めたり、免疫を抑制するなど、様々な作用があります。
- ⑤ ビタミン薬
神経の働きを正常に保つビタミンによって障害を受けた神経を修復します。

【正しい綿棒の使い方】

- ◎ 綿棒は耳の奥に入れてはいけない
理由① 耳には耳垢を外へと自動的に排出する機能があり耳垢は自然に出てきます。
② 無理に綿棒を耳の穴へ突っ込むと耳垢が押し込まれ、鼓膜を傷付けてしまいます。「外耳炎」を引き起こす事もあります。

◎ 正しい綿棒の使い方

- ・ 耳が自然に押し出した外耳道(耳の穴)の手前の耳垢を綿棒で優しく擦らずに拭き取ります。
- ・ 耳かき棒で耳垢を優しく除去して、外耳道の手前を綿棒で優しく拭き取ります。
- ・ どうしても綿棒で耳掃除をしたい場合は、赤ちゃん用綿棒を使い、耳の穴の入り口から1cm以上は入れないようにすると、耳垢を押し込むリスクを軽減できます。



【外耳炎について】

外耳炎は外耳道(耳たぶ～鼓膜)の炎症です。
細菌によって起こりますが、まれに真菌(カビの一種)が原因となることもあります。外耳道炎とも呼ばれます。

《原因》

耳かきや爪で外耳道を傷つけることで、炎症が広がり起こります。

《症状》

痛み、痒み、灼熱感、耳だれなど。耳を引っ張ると痛みが強くなる。
耳閉感、耳鳴り、難聴を訴えることもあります。ほとんどの場合、炎症が治まればこれらの症状も消えます。

《種類》

① 限局性外耳道炎

外耳道の外側3分の1に発症します。
「耳癬(じせつ)」ともいい、局所に限ってできる膿性の炎症です。
外耳道にできるおできの様なもので、激しい痛みを伴います。

(原因) 外耳道の軟骨部の皮脂腺や毛嚢腺が細菌に感染します。
アトピー性皮膚炎でできた傷や爪で引っ掻いた傷、
耳かきのし過ぎでできた傷に病原菌が感染します。

(症状) 激しい耳の痛みと痒み

② びまん性外耳道炎

外耳道の奥3分の2に起こる炎症。

(原因) 耳掃除のし過ぎなどの刺激で起こるほか中耳炎での耳だれ、耳癬、外耳道湿疹に続いて発症することがあります。

(症状) ・激しい耳の痛みと痒み
・炎症により耳が熱っぽく感じる
・白または黄色の耳だれ(膿)
・外耳道が腫れて、耳が塞がってしまう(ひどい場合)

③ 外耳真菌症

外耳道に真菌(カビ)が生えてしまう病気です。

(原因) 耳に常在菌として住んでいる真菌が、中耳炎をきっかけに耳の中が膿などで湿った状態にある人や体力が低下している人などに、感染して起こります。

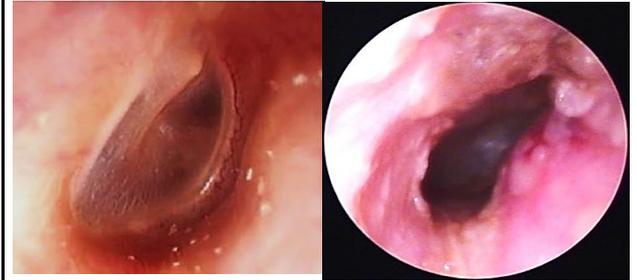
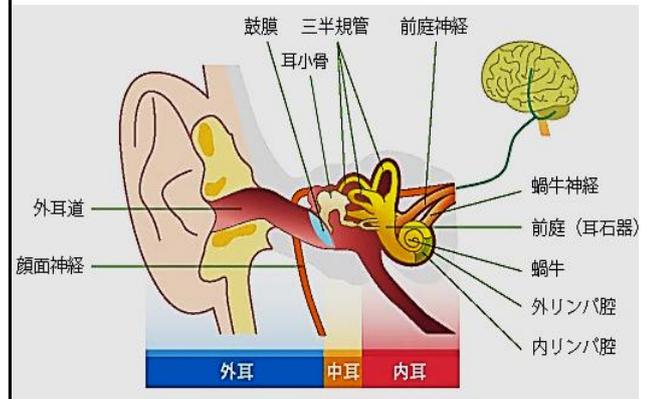
(症状) ・聞こえが悪くなる(つまった感じがする)
・痒み ・匂いのある耳だれ ・持続性の痛み

④ 悪性外耳道炎

外耳の感染症が外耳道、中耳、内耳を含む頭蓋骨に迄広がった状態のことです。糖尿病の人は免疫が低下しているので、細菌感染を受けやすく、特に高齢の糖尿病患者が緑膿菌(※)による外耳道炎にかかると、外耳道周囲に広がり側頭骨および頭蓋骨まで破壊されてしまいます。髄膜炎や頭蓋内血栓症を併発して、最悪の場合、死に至ります。このように悪性の経過をたどるため悪性外耳道炎と呼ばれています。

※緑膿菌…真正細菌で、地球上に広く分布する代表的な常在菌

(症状) ・進行性の激しい痛み ・外耳道の腫れ
・黄緑色の膿性の耳だれ



正常な外耳(鼓膜)

外耳道の腫れ



外耳道前方にかなりの腫れ

外耳道にカビが感染

《治療法》

① 専用の器具を使用し耳の掃除・消毒を行う

② 内服薬を飲む

痒み止め(抗ヒスタミン剤)、鎮痛剤、
セフェム系の抗生物質(細菌性の場合)

③ 軟膏を塗る

・細菌性…ステロイドと抗生剤
(リンデロンVG軟膏など)
・真菌性…抗真菌剤(ラミシルなど)
真菌性にステロイドは使用しません。免疫力を抑えるので悪化する可能性があります。

④ 抗生剤点耳薬を使う

タリビット、ベストロン点耳薬など

⑤ 切開する

外耳道の膿が、綺麗に取り除けない場合は耳を切開しなければならないこともあります。

《注意事項》

・医師の許可が出るまでプール、海に入らない。
・再発防止の為に耳かきや綿棒の使用を制限する(耳掃除を控える)。
・イヤホン、補聴器を清潔にする。

院長還暦祝い&新スタッフ歓迎会 (H30.3.7)



お祝いのケーキ 鯛と一緒に鯛の塩釜焼き割ります! くま先生のケーキ

日本酒をプレゼント

はい、ポーズ!!